

平成 14 年度 社団法人音楽電子事業協会事業報告

(平成 14 年 4 月 1 日から平成 15 年 3 月 31 日まで)

(1) 理事会の開催

1. 平成 14 年 5 月 14 日 (平成 14 年度 第 1 回理事会)

- ・ 社団法人音楽電子事業協会「第 5 回通常総会議案書」の承認
平成 13 年度 収支決算及び監査報告の審議、承認
平成 14 年度 収支予算案の審議、承認
- ・ 社団法人音楽電子事業協会の平成 14 年度 新理事案 (改選、25 名) 及び監事、顧問の承認
- ・ 平成 14 年度新執行体制 (会長、副会長、専務理事、常務理事、運営委員長) の互選
- ・ 新入会員の承認 (1 社 KDDI)

2. 平成 15 年 3 月 19 日 (平成 14 年度 第 2 回理事会)

- ・ 平成 14 年度 収支決算見込案及び事業報告案の審議
- ・ 平成 15 年度 事業計画案及び事業予算案の審議
- ・ MIDI 規格誕生 20 年記念イベント計画の審議、承認
- ・ MIDI 検定制度の海外展開についての審議、承認
- ・ 平成 15 年度、理事交替案の審議
- ・ 第 7 回通常総会の開催および付議事項の承認

3. 書面審議

- ・ 4 月 19 日 クリムゾンテクノロジー株式会社の入会が審議・承認された。
- ・ 7 月 10 日 株式会社グリオの入会が審議・承認された。
- ・ 7 月 17 日 株式会社エンターブレインの入会が審議・承認された。
- ・ 8 月 20 日 株式会社メロディーズアンドメモリーズ・グローバルの入会が審議・承認された。
- ・ 11 月 07 日 株式会社サイバードの入会が審議・承認された。
- ・ 12 月 27 日 株式会社エフォートの入会が審議・承認された。
- ・ 2 月 28 日 エヌ・ティ・ティ・ビジュアル通信株式会社の入会が審議・承認された。
- ・ 2 月 28 日 三井物産株式会社の入会が審議・承認された。

(2) 運営委員会の開催

1. 平成 14 年度 第 1 回運営委員会 (平成 14 年 11 月 15 日)

- ・ 事務局報告
 - 9 月末日現在の収支実績報告
 - 新入会、退会状況の報告
 - 専門委員会 特別懸案事項なし
- ・ MIDI 規格誕生 20 年記念行事の検討
 - 平成 15 年度の AMEI 活動の柱として「MIDI 制定 20 年の記念事業」を計画する。
 - 「Project MIDI 20」を運営委員会メンバーを中心に設置し、平野氏をプロジェクトリーダーとして、早速実行計画の具体的検討に入る。
 - 実施項目の検討
 - MIDI 規格に関する集大成版を作る
 - 楽器フェアでの MIDI のデモンストレーション
 - イベント (セミナー、シンポジウム、トークショー) を独自に計画する
- ・ 2 月には概要を決定
- ・ 3 月の理事会に提案、承認をうる
- ・ 4 月～12 月を展開時期とする

2. 平成 14 年度 第 2 回運営委員会 (平成 15 年 2 月 20 日)

- ・ 平成 14 年度収支決算着地見込み案を事務局より提案、検討した。
- ・ 平成 14 年度事業報告案 (委員会別)、15 年度事業計画案 (委員会別) が各委員会より提案され、検討された。
- ・ 「プロジェクト MIDI 20」より 5 項目の事業計画が提案され、検討した。
- ・ 以上に基づく平成 15 年度収支予算案を作成、検討、理事会・総会に提案、審議を乞う事になった。
- ・ MIDI 検定制度の海外展開について MIDI 認定制度研究委員会及び事務局より提案があり検討した。

平成 14 年度 社団法人音楽電子事業協会事業報告（専門委員会）

（平成 14 年 4 月 1 日から平成 15 年 3 月 31 日まで）

(1) ハードウェア委員会

1. 全体会議（環境問題、安全規格の両部会合同 12/10）
 - ・来年度の事業計画に対する意見交換（MIDI20 年記念イベントの検討）
 - ・外部団体への参加メリット等の意見交換（家電製品協会の PL センターへの参加）
2. 正副委員長・部会長会議（2/14）
 - ・当期事業報告案、次期事業計画の審議、承認。
 - ・15 年度、安全・環境各部会にて会員対象の勉強会を持つ事を決定。
3. 安全規格、環境問題に関する事業説明会を実施（6/11）
 - ・20 社 35 名の参加、好評裡に実施。（AMEI News Vol.19 に詳細掲載）
4. 安全規格部会
（安全規格関連）
 - ・年 6 回の部会を開催
 - ・音楽電子機器の安全性の電取自主依頼試験を 2 件実施
 - ・安全規格関連の規格調査と変動状況把握及び会員への情報提供
 - 中国 CCC 認証に伴う CNCA 実施規則、タイ安全規則、アルゼンチン UL6500、EN60065 の改定動向、台湾規則、Official Journal 性能規定化に関する検討結果
 - ・安全規格改定年表及び用語集の策定
 - ・外部委員会及び外部団体の協議会へ出席、意見の提出
 - 第 108 委員会、電気用品調査委員会、電子情報技術産業協会（JEITA）マルチメディア WG の CISPRI の対応検討会に参画（MIDI）、電波雑音専門部会
- （EMC 関連）
 - ・各国規制の変動把握と会員への情報提供
 - ・新マルチメディア規格の案策定に参画
 - ・「電気用品の雑音の強さの測定方法」の見直しにあたり、AMEI としての見解を日本電気協会に提出。
5. 環境問題研究部会
 - ・年 5 回の部会を開催、国内外の環境に関する法・規制の勉強と情報交換
 - ・容器包装関連リサイクル法、家電リサイクル法、資源有効利用促進法、地球温暖化問題関連、省エネルギー関連、製品アセスメント関連、廃棄物処理法、環境 JIS 関連、定量的環境情報ラベル/JEMAI プログラム（以上日本）
 - ・EC 廃電子電気機器指令案、EC 電気電子機器の環境影響指令案（以上欧州）
 - ・勉強会の実施（9/25）
 - EC・WEEE & ROHS 指令案の動向、日本機械輸出組合 今村部長氏の講演会

- 指令案の内容と対応策検討
- 7社、21名の参加

(2) MIDI 規格委員会

1. 幹事を6回開催（隔月）
 - ・MIDIに関わる主要課題の検討審議
2. MIDIの他業種への採用を積極的に提案
 - ・SDオーディオカードのMIDI対応を検討承認
 - ・携帯電話用標準化規格SP-MIDI（スケーラブルポリフォニー）の検討承認。
 - ・最新MIDI規格書作成検討準備。
3. MMAとのコミュニケーション強化、検討事項のスピードアップ
 - ・検討課題のスピードアップのため、課題ごとにWGを立ち上げる
 - ・MMA総会への定期的参加
4. NAMM ビジネスツアーの再開
 - ・平成15年1月15日～21日 10社15名参加
 - ・MMAとの検討会、MMA総会への出席

(3) 著作権・ソフト委員会

1. 定例会の開催
 - ・定例会10回
 - ・最新のデジタル技術及び話題の事業を紹介する内外講師によるセミナー勉強会を5回
 - ・又インターネット/モバイル/カラオケの合同部会を4回開催、多くの懸案事項に対する3部会協同の対応会議が持たれた。

著作権・ソフト 定例会

開催月日	セミナータイトルと懸案課題	講師名 会社名（議題）	セミナー担当部会
4/11	なし		
5/9	ケータイ用 光レコーダー・キーボード	福田 誠氏 カシオ計算機（株）EMP次長	ソフト規格
6/13	ライオンズの音楽著作物管理事業者 グランドの音楽著作物管理事業者としての考え方	三野明洋氏（ライオンズ社長） 嵯峨芳春氏（グランド 財務部次長）	インターネット
6/26	臨時インターネット/モバイル/カラオケ合同部会	氏名財産権（音事協、音制連）への対応	

7/11	なし		
7/30	臨時インターネット/CD/カラオケ合同部会	氏名財産権（音事協、音制連）への対応	
8/29	臨時インターネット/CD/カラオケ合同部会	(株)韓日著作権協会への対応	
9/12	インターネット音楽スタジオ「ASTRO SESSION」の概要	国崎晋氏（(株)リットミュージック取締役）	ワト規格
10/10	なし	JASRAC と NMRC 懸案事項協議の報告	インターネット
10/22	臨時インターネット/CD/カラオケ合同部会	音事協、音制連の手紙対応	
11/7	なし		
12/12	なし	忘年会（約 50 名参加）	
1/16	なし		
3/6	著作権等管理事業法の実働から 11 ヶ月経過の状況について	山並憲司氏（文化庁長官官房著作権課 著作物推進室企画調査係長）	インターネット

2. 著作権/CD委員会 部会合同の対応事項

- ・著作権管理事業への新規参入事業者への対応
 - NMRC を通じ、JRC / E-ライセンス / ダイキサウンドへの対応
 - AMEI としての暫定使用許諾の締結、会員企業の契約促進。
 - インタラクティブ配信の使用料、届出フォームの検討。
 - インタラクティブ配信の使用料計算基準の検討(JASRAC との整合性を取りながら)。
 - 録音物 WG にて録音物の使用料計算基準、料率、届出フォームの検討と交渉。
- ・対 JASRAC 対応
 - JASRAC の NM 曲に対する使用料徴収の変更への対応協議
 - 映像を伴う配信に関する JASRAC 使用料案に対する対応協議
- ・氏名財産権主張に対する対応（音事協、音制連）法的根拠の追求等

3. カラオケ部会

- ・「JASARC の包括契約」の見直し協議申込。
 - 使用単位利用料の曲数按分方式の提案（他管理事業者との調整）基本使用料の見直し。
- ・ダイキサウンドとの業務用通信カラオケ使用料規程の協議
- ・(株)韓日著作権協会への対応協議

4. インターネット&モバイル部会

- ・NMRC 活動を通じ、ネットワーク（インターネット）における音楽著作権使用料の適正化推進、そのための JASRAC、その他音楽著作権管理事業者との折衝、携帯電話の着信メロディ配信事業における他団体との折衝

- ・著作権情報データベースWGの立ち上げ
AMEIが曲情報・著作権管理団体コードなど著作権にまつわる情報を一元管理するシステムの構築を検討。(JASRAC、JRC、Eライセンス、ダイキサウンド等)

5. ソフト規格部会

- ・GM2スコアワーキンググループ
GM2の普及発展、市場拡大の為に普及、啓蒙活動としてデータ書式の標準化を目的とし、計5回のWG会議を開催、意見交換をし、GM2サンプル音源を録音し、データ制作ガイドブックを作成しAMEIホームページに掲載。
- ・録音物WG MIDI録音物のJASRAC外の著作権管理団体に対する使用許諾、料率、提出フォーマット等の諸問題解決の交渉を管理団体と実施した。

(4) 透かし推進プロジェクト

合計9回のPJミーティングを開催

1. 技術WG

- ・透かし埋め込みツールをハードウェアキー方式に決定、インストールプログラム作成
- ・SMAF(携帯端末用着メロデータ)へのMIDIsign埋込実験を実施

2. 運営WG

- ・デコードサーバーの稼働スタート

3. 普及展開WG

- ・MIDIsignのエンコーダの配布開始
MIDIsignとISMCライセンス契約を10社と締結、3月には携帯電話着信メロデイツーカーセラーのfunstyleサイトにもAMEI標準透かしが入った。
- ・経済産業省のEDI実証実験15年度メンバーにエントリーを申し込んだ。
- ・各社各団体へのPR(NTTドコモ、DCAJ、JSPA等)

(5) デジタルコンテンツ推進委員会

今後のデジタルコンテンツ推進委員会の活動方向について幹事会にて検討(4回の幹事会を開催)

- ・7月5日 第1回セミナーを開催

「KDDIのブロードバンドサービス」(KDDI本社にて)約30名の参加を得た。

(6) デジタル・レコーディング委員会

「デジタル・レコーディングに関わるメーカー間の技術的連携を取り、その活動成果の積極的活用を行うと共に必要情報をユーザーへ告知する事を目的とした。」(11回の委員会を開催)

- ・ホームページに「デジタル接続時の注意点」を掲載
前期実施のワードロック接続検証の結果を踏まえ、最適な接続方法を委員会で検討、

その内容を詳細な図解入りで AMEI ホームページに掲載。

- ・「これで解った！デジタルレコーディング」の改定作業

5年前に AMEI 監修で発刊の専門書、デジタル接続時の注意点や、機器やPCレコーディングの現状に合致した内容に大幅な改定作業に取り掛かった。参加各社の考え方やユーザーの立場から JSPA メンバーの意見を擦り合せながら、15年夏発刊を目指し作業を進めている。

(7) MIDI 認定制度研究委員会

1. 第5回3級検定試験 / 第4回2級筆記試験を実施

- ・平成14年12月8日、全国北は旭川から南は熊本まで80会場（内島村楽器38会場）にて実施した。
- ・3級1,871名（前年比93%）、2級391名（前年比67%）、合計2,262名。
- ・合格者、3級1,342名（合格率71.7%）、2級筆記228名（合格率58.3%）

2. 第4回MIDI検定2級実技試験を実施

- ・平成15年2月8日～2月24日までに東京（アップルコンピュータ・セミナールーム、ローランド・セミナールーム）大阪（マイドームおおさか）にて実施した。
- ・応募者391名（前年比96.8%）
- ・合格者228名（合格率43.7%）

MIDI 検定試験受験者数推移と合格率

級	内容	平成10年度	平成11年度	平成12年度	平成13年度	平成14年度	14年度までの合計
3級	実施日	H11.1.17	H12.1.23	H13.1.28	H13.12.16	H14.12.8	
	受験者数	2,964	2,737	2,145	2,009	1,871	11,726
	(内学校)	1,275	1,591	866	1,040	904	5,676
	合格者数	2,413	1,543	1,536	1,411	1,342	8,245
	合格率	81.4%	56.4%	71.6%	70.2%	71.7%	70.3%
2級 1次	実施日		H12.5.28	H13.1.13	H13.12.16	H14.12.8	
	受験者数		979	594	587	391	2,551
	合格者数		350	240	290	228	1,108
	合格率		35.8%	40.4%	49.4%	58.3%	43.4%
2級 2次	実施日		H12.7.11	H13.3.13	H14.2.9	H15.2	
	受験者数		328	295	404	391	1,418
	合格者数		127	64	21	171	383
	合格率		38.7%	21.7%	5.2%	43.7%	27.0%

3. MIDI 検定4級のスタート

- ・4級指導者認定講座を6回実施、約80名の認定講師が誕生
- ・学校6校、島村楽器14店、個人教室6名 合計26ヶ所でスタート
- ・14年度1,200名の受講者があった。

4. 2級ライセンサーの座談会実施
 - ・3回、21名の参加（AMEI News、ホームページ、ミュージックトレード誌に掲載）
5. midilicense.com（MIDI 検定受験者、ライセンサーのためのホームページ）の立ち上げ
 - ・誌上セミナー、座談会、音楽ニュース、求人広告（アルバイト含む）等々

(8) 事業委員会

5回の幹事会を開催した。

- ・2002年度は大楽器祭への参加及び独自（タイアップ）イベント開催をしない事を決定した。
- ・2003年度「MIDI 誕生 20 年記念イベント」への参加方法の検討
 - アップルコンピュータ(株)、JSPA の協力を得、楽器フェアに AMEI ブースを持つ事を検討
 - 出展内容の検討
 - MIDI シーケンスソフトと MIDI ビンテージモデルの展示とデモを検討
 - 参加社を応募する（3月）事にした。

(9) 広報委員会

- ・AMEI News の発行
 - 年間3回の発刊（4月、7月、12月）
- ・MIDI20年記念ロゴマークの募集
- ・AMEI ホームページの刷新